

10. スコアカードの提出（規則3.3b）

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならず、そしてすぐに戻らなければならない。

11. タイの決定

タイの決定方法は各競技の競技規定に定められるか、委員会により会場で公表される。

12. 競技の結果 — 競技の終了

本競技は競技委員長の成績発表をもって終了する。

13. 競技の成立

本競技の競技者全員が規定のラウンドをホールアウトできなかった場合、委員会は競技成立について別途協議（再開、予備日など）するものとする。

14. 委員会の裁定

委員会はローカルルールを修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

注 意 事 項

参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。

携帯電話

緊急時以外コース内での携帯電話の通話は禁止する。

行動規範

プレーヤー、またはそのキャディーは石川県ゴルフ協会が定める「行動規範」に従わなければならない。

行 動 規 範

石川県ゴルフ協会競技委員会はプレーヤー、開催倶楽部、そしてこの競技に関わる人々の質に誇りを持っています。この競技がすべての人々に楽しんでもらえるように、すべてのプレーヤーはこの行動規範に従わなければなりません。行動規範は練習ラウンドを含めこの競技の開催期間中はすべてのプレーヤー、そのキャディーに適用されます。この規範の目的は、プレーヤーに自らの行動の結果を知ってもらうために、プレーヤーに期待されることを説明し、違反となる行動を明確にすることにあります。規則1.2「プレーヤーの行動基準」に基づき、プレーヤーはこの行動規範の内容を知っておかなければなりません。

行動規範の違反となる行動の例

- コースの保護をしない(例えば、バンカーをならさない、ディボットを元に戻さない、目土をしないなど)
- 受け入れられない言動をする。
- クラブ、コースを乱暴に扱う(クラブを投げたり、コースを損傷させる)。
- 他のプレーヤー、競技委員、関係者、ギャラリーに失礼な態度をとる。
- いじめ、ハラスメント、差別、脅迫。
- 認められていない場所での喫煙、飲酒。
- 違法薬物の摂取。
- 違法物の所持。
- 開催倶楽部のドレスコードに従わない。
- その他ゴルフアースとして相応しくない態度。
- 政府、地方自治体、開催倶楽部、主催者が要請する感染症等の防止対策に従わない。

行動規範の違反の罰

- 行動規範の最初の違反 — 競技委員からの警告、あるいは競技委員会による制裁
 - 1 罰打
 - 2 罰打
- 2回目の違反
- 3回目の違反
- 4回目の違反や重大な非行 — 失格

プレーヤーは上記の行動基準に違反した時点で罰が自動的に適用されるのではなく、罰を適用するかどうかについては競技委員会、競技委員長の裁量に委ねられる。

懲戒的な制裁

競技委員会には行動規範に違反したプレーヤーに、今後の石川県ゴルフ協会関連競技への参加を一定期間認めない等の懲戒的な制裁をする権限がある。失格の罰を伴う行動規範の違反や重大な非行をしたプレーヤーに懲戒的な制裁をする場合、競技委員会は書面によりそのプレーヤーに通知する。

ゲームの精神に反する行動の重大な違反

上記行動規範に関わらず、規則1.2aに基づいて、競技委員会はゲームの精神に反する行動の重大な非行についてプレーヤーを失格とすることができる。

競技委員会



石川県ゴルフ協会
Ishikawa Golf Association

2025 年度

石川県ゴルフ協会関連競技

ローカルルール

注意事項
行動規範

2023 ゴルフ規則

R & A公式アプリで規則にアクセスできます。

【Android】 【iPhone】



2025年度石川県ゴルフ協会主催等の競技には R&AとUSGAが制定したゴルフ規則と、以下のローカルルールと競技会場で石川県ゴルフ協会が追加または修正したローカルルールが適用されます。

下記に規定されているローカルルールの全文については、2023年1月施行のゴルフ規則のオフィシャルガイドと、R&A によって4半期ごとに更新される詳説を参照すること。
(<https://www.jga.or.jp> に掲載)

別途規定されている場合、または適用規則が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は2罰打となります。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ (規則18.2)

- アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- アウトオブバウンズに止まったり、そのアウトオブバウンズを超えて止まった球は、他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。

2. パナルティエリア (規則17)

- コース内の片側だけ定められているパナルティエリアは無限に及ぶ。
- パナルティエリアがコースの境界線に接している場合、そのパナルティエリアの縁はその境界線まで及びその境界線と一致する。
- パナルティエリアの縁がコースの境界(アウトオブバウンズの境界)と一致する地点をプレーヤーの球が最後に横切ってからそのパナルティエリアの中で見つかるか、そのパナルティエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合、ローカルルールひな型B-2.2に基づいて反対側の救済を受けることができる。

- パナルティエリアのためのドロップゾーン
パナルティエリアのためのドロップゾーンが設置される場合、1打の罰に基づく救済の追加の選択肢となる。ドロップゾーンは救済エリアであり、球はその救済エリアにドロップされ、その救済エリアに止まらなければならない。

3. 異常なコース状態 (動かせない障害物を含む) (規則16)

- 修理地
1) 白線で囲まれ青杭で標示してある区域
2) 張芝の継ぎ目:ローカルルールひな型F-7を適用する。
3) パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分に

あるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。

(b) 動かせない障害物

- 白線の区域と動かせない障害物が重なっている場合、一つの異常なコース状態として扱われる。
- 動かせない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長しているすべての物は、一つの異常なコース状態として扱われる。
- ウッドチップやマルチ (木屑) などを表面に敷いた道路や通路。ウッドチップやマルチ (木屑) などの個体はルースインプディメントである。
- 人工の素材で作られたU字排水溝は動かせない障害物として扱う。カート道路に沿って設置されている排水溝はジェネラルエリアの動かせない障害物として扱われ、そのカート道路の一部である。
- 電磁誘導カート用の2本 (あるいは3本) の軌道は、その全幅をもって1つのカート軌道 (動かせない障害物) とみなす。

4. 不可分な物

次の物は不可分な物であり、罰なしの救済は認められない:

- 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物。
- パナルティエリア内にある人工的な護岸やバイキング (枕木等の構築物)。

5. クラブと球の規格

- 適合ドライバヘッドリスト:
ローカルルールひな型G-1を適用する。
このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰: 失格
- 溝とパンチマークの仕様:
ローカルルールひな型G-2を適用する。
ただし、下記競技には適用しない。
 - 中部小学生ゴルフ大会
このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰: 失格
- 適合球リスト:
ローカルルールひな型G-3を適用する。
このローカルルールの違反に対する罰: 失格
- 壊れた、または著しく損傷したクラブは類似のクラブと取り替える: ローカルルールひな型G-9を適用する。
ローカルルール違反の罰—規則4.1b 参照。
- ストロークを行うとき、プレーヤーはパターンを除き

46インチの長さを超えるクラブを使ってはならない。
ローカルルールひな型G-10を適用する。
ただし、下記競技には適用しない。

- 中部小学生ゴルフ大会
- 中部アンダーハンディキャップ競技

このローカルルールに違反するクラブでストロークを行ったことに対する罰: 失格

6. 険悪な気象状況によるプレーの中断 (規則5.7)

次の信号がプレーの中断と再開に使われる:

- | | | |
|--------|---|-----------------------|
| 即時中断 | — | 1回の長いサイレンまたはエアホーン |
| 中断 | — | 3回の連続する短いサイレンまたはエアホーン |
| プレーの再開 | — | 2回の連続する短いサイレンまたはエアホーン |
- 注意: 危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 練習 (規則5)

- ラウンド前とラウンドとラウンドの間の練習 (規則5.2)
規則5.2bは次の通り修正する。
プレーヤーは、ラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技コースで練習をしてはならない。ただし、指定練習区域を除く。
- ホールとホールの間の練習 (規則5.5b)
規則5.5bを次の通り修正する:
二つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

8. キャディー

プレーヤーのキャディーの使用を禁止したり、要求したり、あるいはキャディーとして使用できる人について制限する場合、各競技の競技規定に掲載される。

9. 参加資格

プレーヤーは各競技の「競技規定」で定められる参加資格の条件を満たしていなければならない。